

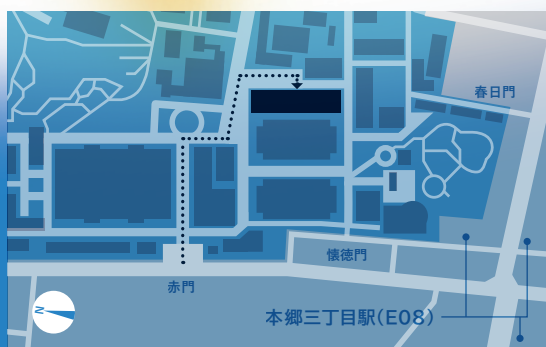
東京大学芸術創造連携研究機構発足シンポジウム

学問と芸術の協働

—アートで知性を拡張し、
社会の未来をひらく—

2020年 3月14日(土) 12:30—17:30(12:00開場)
本郷キャンパス医学部鉄門記念講堂(医学部教育研究棟14階)

申込不要
・
聴講無料



〈交通案内〉

東京大学本郷キャンパス(東京都文京区本郷7-3-1)
営団地下鉄丸の内線・都営地下鉄大江戸線「本郷三丁目駅」下車徒歩約10分
お車でのご来場はご遠慮ください。

〈問い合わせ先〉

東京大学芸術創造連携研究機構
<https://www.art.c.u-tokyo.ac.jp/contact/>

主催:東京大学芸術創造連携研究機構

共催:科学研究費補助金 基盤研究(B)「『予見(prevision)』をコア概念とした統合的思想史の構築」

後援:公益財団法人かけはし芸術文化振興財団

おた・くにひろ

太田 邦史

東京大学 大学院総合文化研究科長

専門は分子生物学・合成生物学で、生物の多様性の発生機序と意義に関する研究に従事。平成19年度文部科学大臣表彰科学技術賞(研究部門)などを受賞。著書に『エビゲノムと生命』(ブルーバックス、2013年)、『「生命多元性原理」入門』(講談社選書メチエ、2018年)など。

おかだ・たけし

岡田 猛

東京大学 大学院教育学研究科 教授 芸術創造連携研究機構 副機構長

専門は心理学、認知科学。特に、芸術創作活動のフィールドワークや心理実験、芸術表現の教育支援の実践研究などに従事。共編著に『触発するミュージアム：文化的公共空間の新たな可能性を求めて』(あいり出版、2016年)など。

かじや・けんじ

加治屋 健司

東京大学 大学院総合文化研究科 教授 芸術創造連携研究機構 副機構長

専門は表象文化論、現代美術史。著書に『アンフォルム化するモダニズム：カラーフィールド絵画と20世紀アメリカ文化』(東京大学出版会、2016年)、『心を支えるシェイクスピアの言葉』(あさ出版、2020年)など。日本シェイクスピア協会会長。

かわい・しょういちろう

河合 祥一郎

東京大学 大学院総合文化研究科 教授 芸術創造連携研究機構 機構長

専門は表象文化論、シェイクスピア。著書に『ハムレットは太っていた!』(白水社、2001年サントリー学芸賞受賞)、『シェイクスピア』(中公新書、2016年)、『心を支えるシェイクスピアの言葉』(あさ出版、2020年)など。日本シェイクスピア協会会長。

くどう・かずとし

工藤 和俊

東京大学 大学院情報学環 准教授 芸術創造連携研究機構 フェロー

専門は身体運動科学、認知行動科学。技芸の熟達化についての研究に従事。著書(分担執筆)に『身体：環境とのエンカウンター』(東京大学出版会、2013年)、『身体運動科学アドバンス』(杏林書院、2017年)など。

くりはら・ひろき

栗原 裕基

東京大学 大学院医学系研究科 教授 芸術創造連携研究機構 運営委員

専門は循環器病学、発生生物学。心臓や血管・顔面構造の発生機構について、生命科学と数理科学の融合研究に従事。東京藝術大学Arts Meet Science Project運営委員として異分野学生間交流に尽力中。



ところ・あさお

野老 朝雄

美術家

911以降「繋げる」をテーマに、単純な原理に基づき定規やコンパスで再現可能な紋と紋様の制作をはじめ。美術、建築、デザインの境界領域で活動する。主な作品に大名古屋ビルヂング下層部ファサードガラスパターン、東京2020オリンピック・パラリンピックエンブレムなど。2018年度より東京大学教養学部非常勤講師。



とよだ・きよみ

豊田 喜代美

声楽家 博士(知識科学)

ジローオペラ賞(東京二期会オペラ『セヴィラの理髪師』ロジャー)、サントリー音楽賞(オペラ『ホフマン物語』小澤征爾指揮)全4役)各賞受賞。NHK交響楽団『メサイア/モーツァルト版』他国内外オケ定期出演及びライブCD多数。クラシック音楽歌唱を用いた能力開発支援研究に従事。2018年度より東京大学教養学部非常勤講師。



のむら・まんさい

野村 萬斎

狂言師

重要無形文化財総合指定者。世田谷パブリックシアター芸術監督、芸術祭新人賞・優秀賞、朝日舞台芸術賞、紀伊國屋演劇賞、毎日芸術賞千田是也賞等受賞多数。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開閉会式のチーフ・エグゼクティブ・クリエーティブ・ディレクター。1991~1993年、2000~2001年、2008年に東京大学教養学部非常勤講師を務める。

式次第

12:30	開会の辞 河合 祥一郎 (東京大学 芸術創造連携研究機構 機構長) 式辞 五神 真 (東京大学 総長) 太田 邦史 (東京大学 大学院総合文化研究科長)
12:40	記念対談「東京大学と芸術創造」 野村 萬斎 (狂言師)・河合 祥一郎
13:40	芸術創造連携研究機構の概要説明 加治屋 健司 (東京大学 芸術創造連携研究機構 副機構長)
休憩	
14:10	記念講演「機構の研究と教育の現場から」 「芸術創造体験における声楽・身体運動科学の役割」 豊田 喜代美 (声楽家・ソプラノ歌手) 工藤 和俊 (東京大学 大学院情報学環 准教授) 「個と群と律」 野老 朝雄 (美術家) 館 知宏 (東京大学 大学院総合文化研究科 准教授)
休憩	
16:25	ラウンドテーブル 「アートで知性を拡張し、社会の未来をひらく」 モデレーター:河合 祥一郎 登壇者: 岡田 猛 (東京大学 芸術創造連携研究機構 副機構長) 栗原 裕基 (東京大学 大学院医学系研究科 教授) 河野 俊丈 (東京大学 大学院数理科学研究科 教授) 小林 真理 (東京大学 大学院人文社会系研究科 教授) 千葉 学 (東京大学 大学院工学系研究科 教授) 苗村 健 (東京大学 大学院情報学環 教授)
17:25	開会の辞 岡田 猛
17:30	終了 司会: 高木 紀久子 (東京大学 芸術創造連携研究機構 特任助教)

こうの・としたけ

河野 俊丈

東京大学 大学院数理科学研究科長 教授 芸術創造連携研究機構 運営委員

専門は位相幾何学・数理物理学。数学の可視化についてのプロジェクトにも従事。著書に『反復積分の幾何学』(シュプリンガー・ジャパン、2009年)、『結晶群』(共立出版、2015年)など。

ごのかみ・まこと

五神 真

東京大学 総長

専門は量子物理学。著書に『変革を駆動する大学：社会との連携から協創へ』(東京大学出版会、2017年)、『大学の未来地図：「知識集約型社会」を創る』(ちくま新書、2019年)。日本学術会議会員、未来投資会議議員、科学技術・学術審議会委員、産業構造審議会委員、知的財産戦略本部本部員なども務める。

こばやし・まり

小林 真理

東京大学 大学院研究科長 教授 芸術創造連携研究機構 運営委員

専門は文化資源学、文化経営学。著書に『文化権の確立に向けて：文化振興法の国際比較と日本の現実』(勁草書房、2004年)、編著に『行政改革と文化創造のイニシアティブ』(美学出版、2013年)、『文化政策の思想』(東京大学出版会、2018年)など。

たかぎ・きくこ

高木 紀久子

東京大学 大学院総合文化研究科 特任助教 芸術創造連携研究機構 運営委員

専門は認知科学、芸術心理学。特に芸術家の創作プロセスと芸術創作の教育支援について、思考と身体の双方のアプローチから実践的な研究に従事。教育機関、美術館などで諸感覚を横断する表現ワークショップ主宰。

たち・ともひろ

館 知宏

東京大学 大学院総合文化研究科 准教授 芸術創造連携研究機構 運営委員

専門は計算幾何学、建築構造工学。特に計算折紙や空間充填など、立体形状と構造機能についての研究に従事。若手科学者賞、共編書に『Origami&: Proceedings of the Sixth International Meeting on Origami Science, Mathematics, and Education』(アメリカ数学会、2016年)など。

ちば・まなぶ

千葉 学

東京大学 大学院工学系研究科 教授 芸術創造連携研究機構 運営委員

専門は建築意匠、都市空間デザイン。代表作に日本盲導犬総合センター(2009年日本建築学会作品賞)や工学院大学125周年記念総合教育棟(2014年村野藤吾賞)、著書に『人の集まり方をデザインする』(王国社、2015年)。

なえむら・たけし

苗村 健

東京大学大学院情報学環 教授 芸術創造連携研究機構 運営委員

専門はメディア情報工学。特にバーチャルリアリティやヒューマンインタフェースの研究に従事し、日本科学未来館「現実拡張工房」(2013年)など展示多数。東京大学制作展の担当教員として学生とともに先端的な表現の在り方を探る。